愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	国語		
担当者(Instructors)	山本 かほる	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択
		実務家教員科目(Pro teacher course)	

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

学習指導要領の精読を通して国語科の目標・内容を理解し、それを踏まえて国語科の授業構想を作成できるようにする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	学習指導要領を精読し各学年で身に付けさせたい資質・能力を理解した上で、さまざまなジャンルの教材の初歩的な教材分析を行う。また、その教材分析を基に簡単な授業構想を作成したり模擬授業を行ったりして国語の授業力の基礎を培う。使用する「小学校学習指導要領　国語」（平成２９年告示）は、授業資料として配布する。
当該科目と実務との関係(Relationship between cource and practice)	小学校ではほぼ毎日国語の授業がありますが、現場では「国語って何をどうやって教えたらいいの？」と悩む先生方の声も聞かれます。担任として毎日国語の授業をしてきた中で、私も「国語科で伸ばすべきことばの力は何か」について、悩みながら考えてきました。学習指導要領を手がかりに、教材を読み解きながら、国語科で伸ばしたいことばの力について一緒に考え、みんなで楽しみながらアクティブに、国語という教科の本質に迫っていきましょう。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション 国語力って何？どうしたら身につくの？	・本授業の内容や目的、評価規準や授業計画などの概要を知る。 ・国語力の具体は何か、なぜ必要か、どうしたら身につくかについて考える。	□
第2回	言語事項（１）　漢字指導をやってみよう①	・漢字についての基礎知識を学び直し、真の漢字力とは何かを考える。 ・漢字指導を経験し、真の漢字力を身に付けさせる指導のあり方を考える。	□
第3回	言語事項（２）　漢字指導をやってみよう②	・漢字テストの作成・採点を体験し、漢字指導における評価の問題点について考える。	□
第4回	言語事項（３）　書写指導をやってみよう	・水書で実際に毛筆を体験しながら、書写指導についての基本的な考え方や指導法を学ぶ。	□
第5回	音読指導をやってみよう ～４年「こわれた千の楽器」（東京書籍）	・いろいろな音読の方法を知り、実際に教材を音読してみる。 ・目的に合った音読のさせ方について考える。	□
第6回	文学教材の授業をやってみよう（１） ～「読み取る」ってどういうこと？ ３年「おにたのぼうし」（教育出版）	・文学教材の読解を通して、内容を読み取ること、読み取ったことをもとに考えたり想像したりすることを体験しながら、読解の目的に合わせた発問を作成する。	□
第7回	文学教材の授業をやってみよう（２） ～「話し合う」ってどういうこと？ ３年「おにたのぼうし」（教育出版）	・「話し合う」とは具体的にどうすることか、どうなったら話し合えたことになるのかを、文学教材の読解場面での話し合いを体験しながら考える。 ・グループでの話し合いと学級全体での話し合いを比較し、それぞれの長所・短所を考える。	□
第8回	文学教材の授業をやってみよう（３） ～３年「おにたのぼうし」（教育出版）	・前々回作成した発問を軸に、効果的な話し合いを取り入れた文学教材の簡単な授業構想を作成し、模擬授業をやってみる。	□
第9回	国語科教材研究の方法 ～４年「ごんぎつね」（共通教材）	・教材研究とは具体的に何をどうすることなのか、共通教材４年「ごんぎつね」を題材に考え、実際に教材研究をしてみる。	□
第10回	授業構想を立ててみよう（１） ～文学教材①４年「ごんぎつね」（共通教材）	・４年「ごんぎつね」を読み合って、学習指導要領と照らし合わせながらこの教材でどんな資質・能力をつけさせたいのかを明確にした上で、前回の教材研究を踏まえ、おおまかな授業構想を作成する。	□

第11回	授業構想を立ててみよう（２） ～文学教材②４年「こわれた千の楽器」（東京書籍）	・４年「こわれた千の楽器」を読み合って、学習指導要領と照らし合わせながらこの教材でどんな資質・能力をつけさせたいのかを明確にした上で、第５回の音読指導を踏まえ、おおまかな授業構想を作成する。	□
第12回	授業構想を立ててみよう（３） ～説明文教材３年「くらしと絵文字」（教育出版）	・３年「くらしと絵文字」を読み合って、学習指導要領と照らし合わせながらこの教材でどんな資質・能力をつけさせたいのかを明確にした上で、おおまかな授業構想を作成する。	□
第13回	授業構想を立ててみよう（４） ～詩教材５年「生活の中で詩をたのしもう」（光村図書）	・５年「生活の中で詩をたのしもう」を読み合って、学習指導要領と照らし合わせながらこの教材でどんな資質・能力をつけさせたいのかを明確にした上で、おおまかな授業構想を作成する。	□
第14回	授業構想を立ててみよう（５） ～聞く・話す教材２年「あったらいいな　こんなもの」（光村図書）	・２年「あったらいいな　こんなもの」を読み合って、学習指導要領と照らし合わせながらこの教材でどんな資質・能力をつけさせたいのかを明確にした上で、おおまかな授業構想を作成する。	□
第15回	ICTを活用した国語科の授業 ～デジタル教科書・タブレットPCを使ってみよう	・国語科のデジタル教科書やタブレットPCを実際に使ってみて、国語科の授業で身に付けさせたい資質・能力をのばす上での、ICT機器の効果的な活用法について考える。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

学習指導要領（小学校国語）や教科書教材・その参考資料など、配布された資料を使って授業前に予習し（２時間程度）、授業後に授業記録（考察を含む）や指定された教材の１単位時間の授業構想を作成する（２時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出された授業記録（考察を含む）や授業構想は、すべて添削・採点の上、翌週に返却する。全体で共有するべき課題が明らかになった場合、あるいは優れた授業記録や授業構想について、パワーポイントなどで解説し、フィードバックする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	国語科で身に付けさせたい資質・能力について学習指導要領を精読して理解し、それを各教材の内容に合わせて落とし込んだ「本時の目標」を設定できるようにする。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	教材研究を通して「本時の目標」を達成するための学習活動を考え、授業構想を作成できるようにする。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	授業構想の作成や模擬授業の実践を通して、子どもたちが楽しく学べ、国語科の資質・能力を着実に伸ばす手立てを、主体的に工夫できるようにする。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

毎回の講義記録や授業構想の内容、模擬授業の成果によって評価する

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	小学校学習指導要領（国語）を配付	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		

2		
3		
4		
5		